

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和6年 4月 8日

事業所名 スマイルともにー2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5	1			
	②	職員の配置数は適切である	3	1	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の休みや研修などがあると</li> <li>・人員が足りないと感じる時がある</li> <li>・送迎車に添乗員が同乗しないことがある</li> <li>・少なく感じる利用者一人一人に職員が行き届いてない気がする</li> </ul>
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	2	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・車イス対応が出来ていない</li> <li>・入口の階段など配慮されていない部分もある</li> </ul>
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	3	2	1		・わかりません
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	5		1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者とのコミュニケーションを取り業務改善に結びつけようとしている</li> <li>・わかりません</li> </ul>
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5	1			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	4	2			・わかりません
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	6				・研修等はしっかりと行っている
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6				・保護者との連携をしっかりと取り、適切な支援に結びつけていると思う
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	5	1			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	1		・決めていない
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	6				・昼礼などでその日の確認等はしている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	2		・わかりません ・その日のうちに振り返りを行うことが出来ないで、忘れてしまう事もある ・送迎で外出した職員と会わないで退室することが多いのでその日のできごとを振り返る時間はない ・共有せずに帰ってしまう事が多い
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2			・質問の表現が難しいので説明が欲しい、よって回答できません
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1			・出席する担当者が誰なのか知らないので回答できません
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1			・送迎時に先生から引継ぎ等を受けている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	1		・わかりません ・医療的ケアが必要な児童の受け入れは今のところ行っていない ・まだ医ケアを受け入れていないので回答できません
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		6			・周知していない ・わかりません ・来ていない場合もある ・それほど積極的に情報共有しているようには感じられないので回答できません
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	5			・わかりません ・まだそのような利用者はいない ・まだ事例が少ないので回答できません
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	1		・この事業所では外部機関の研修を受けたことがありません
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4		2		・最近はない ・わかりません ・学童クラブに通っている利用者もいれば、たまに児童館の催しに参加することもある
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3	1		・わかりません ・たぶんしている
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1			
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	1		・わかりません ・たぶんしている
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2			・自分が行っていないのでわからない
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	5		・わかりません ・コロナ後から保護者会などは開催できていないがイベント事の際には保護者の方にも声をかけている ・保護者会は行っていないと思う
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				・上司にすぐに報告し、対応をしていると思う
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				
	③⑤	個人情報に十分注意している	6				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6				・秋祭りなどを行っている
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2			・わかりません
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3			・わかりません ・重度のアレルギーがあるような利用者がいない

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。